

大阪経済の情勢

(2021年8月指標を中心に)

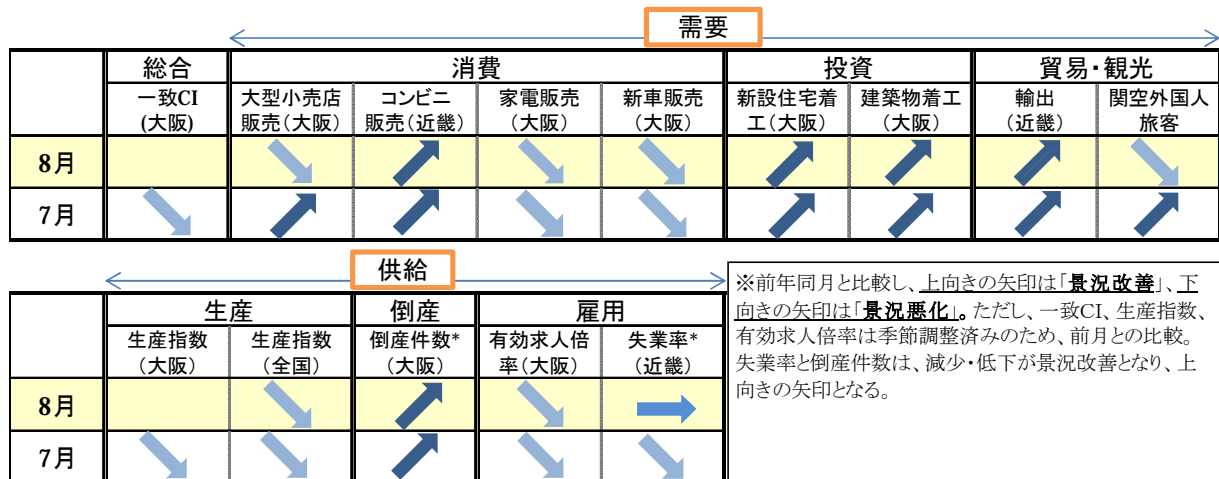
2021年10月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。コンビニ販売額は増加。百貨店・スーパー販売額、家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;7月)は増加。投資は、持ち直している。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、基調としては持ち直している。大阪府(7月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(7月)は低下。全国の前年(8月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(7月)は上昇。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は大幅に下押しされた状態が続いているため、今後の動向に引き続き注意が必要。



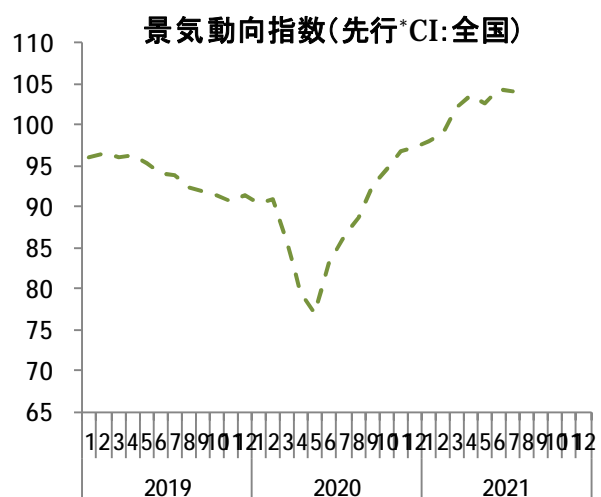
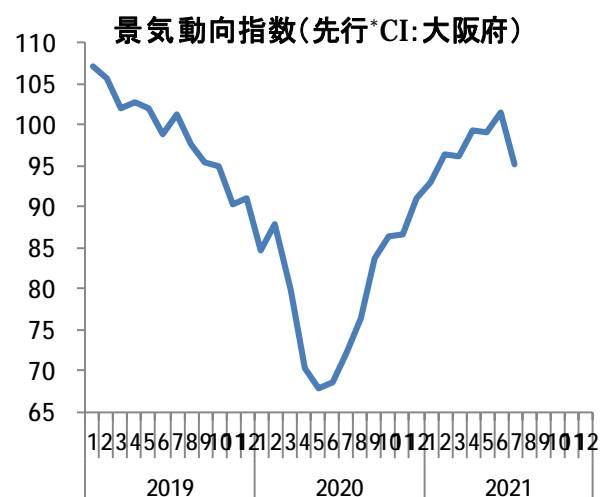
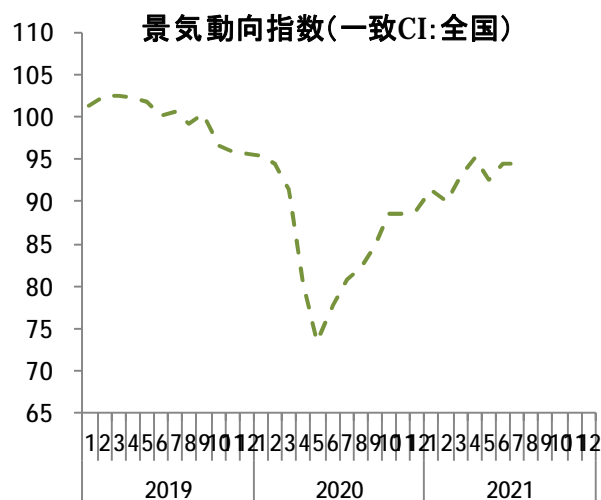
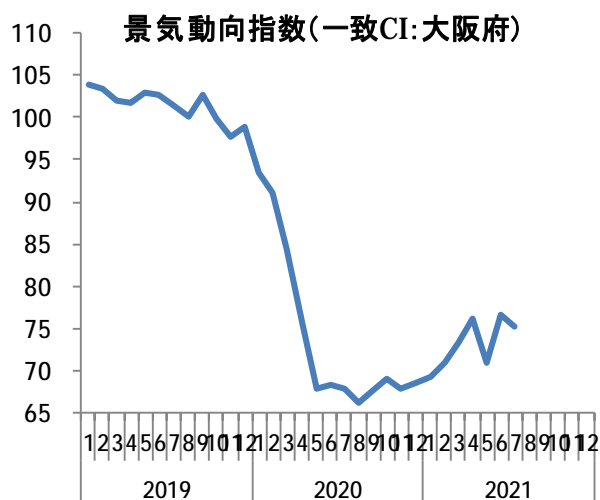
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2021年8月公表分) (2021年6月指標中心)	先月(2021年9月公表分) (2021年7月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	—	関西の景気は、全体としては持ち直しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言のもとで、消費への下押し圧力が強まっている。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(7月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」「有効求人倍率」が低下に寄与。全国(7月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	21年6月	7月	8月
先行CI	101.6	P 95.1	
一致CI	76.7	P 75.3	

	全国		
	21年6月	7月	8月
先行CI	104.2	104.1	
一致CI	94.6	94.4	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、7月速報)

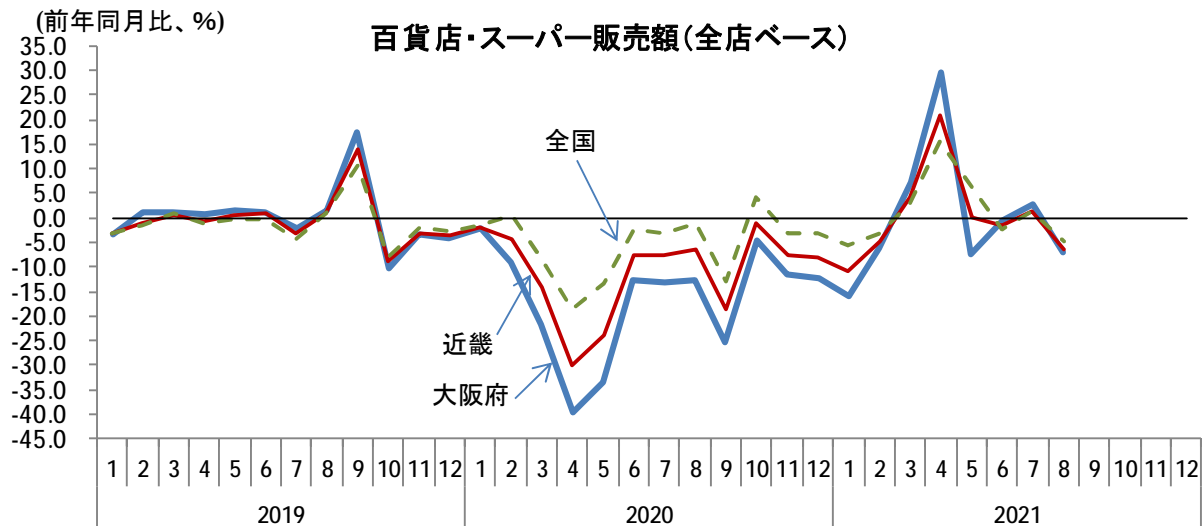
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.33	▲0.15	▲0.51	▲0.07	▲0.45	▲0.47	▲0.08

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。コンビニ販売額は増加。百貨店・スーパー販売額、家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;7月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【2ヶ月ぶりの低下。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		21年6月	7月	8月
販売額(億円)	大阪府	1,318	1,445	P 1,204
前年比(%)	大阪府	▲0.4	2.7	P ▲7.1
	近畿	▲1.5	1.4	P ▲6.4
	全国	▲2.2	1.3	P ▲4.8

百貨店販売額(全店)

		21年6月	7月	8月
前年比(%)	大阪府	2.3	7.0	P ▲12.0
	全国	▲3.3	2.6	P ▲13.9

スーパー販売額(全店)

		21年6月	7月	8月
前年比(%)	大阪府	▲2.7	▲1.1	P ▲3.8
	全国	▲1.8	0.8	P ▲2.3

○コンビニエンスストア販売額(全店)【6ヶ月連続の増加。】

		21年6月	7月	8月
販売額(億円)	大阪府	663	713	P 692
前年比(%)	大阪府	2.7	6.2	P 0.9
	近畿	2.6	7.0	P 0.1
	全国	1.7	6.1	P ▲1.2

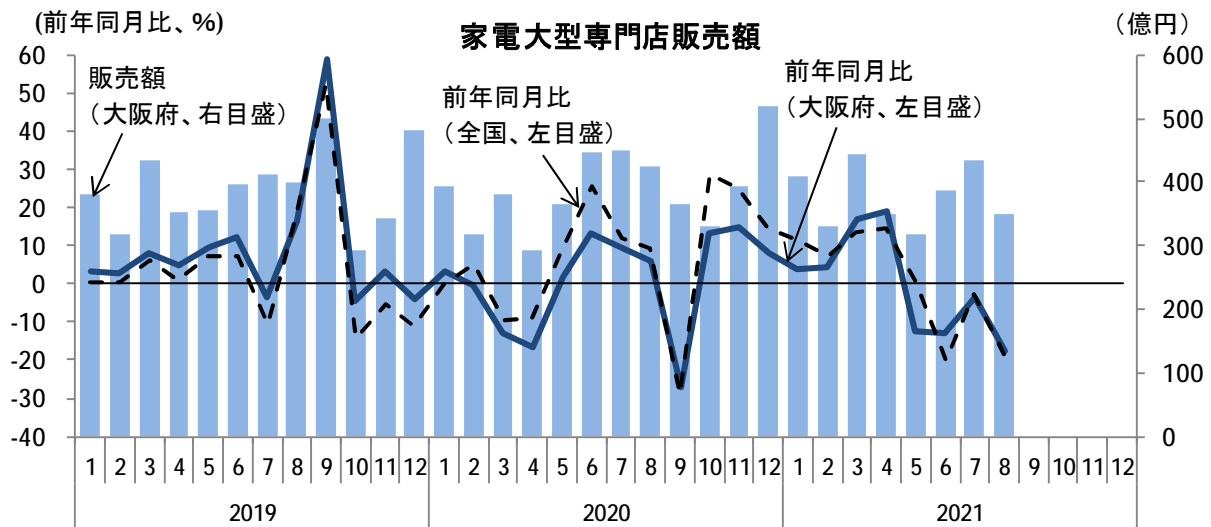
○家計消費支出【近畿(7月)は5ヶ月連続の増加。】

		21年6月	7月	8月
円	近畿	256,033	270,722	
前年比(%)	近畿	0.8	7.7	
	全国	▲4.9	0.3	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で4ヶ月連続の減少。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		21年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	▲13.2	▲3.7	P ▲17.5
	全国	▲19.9	▲2.9	P ▲18.3

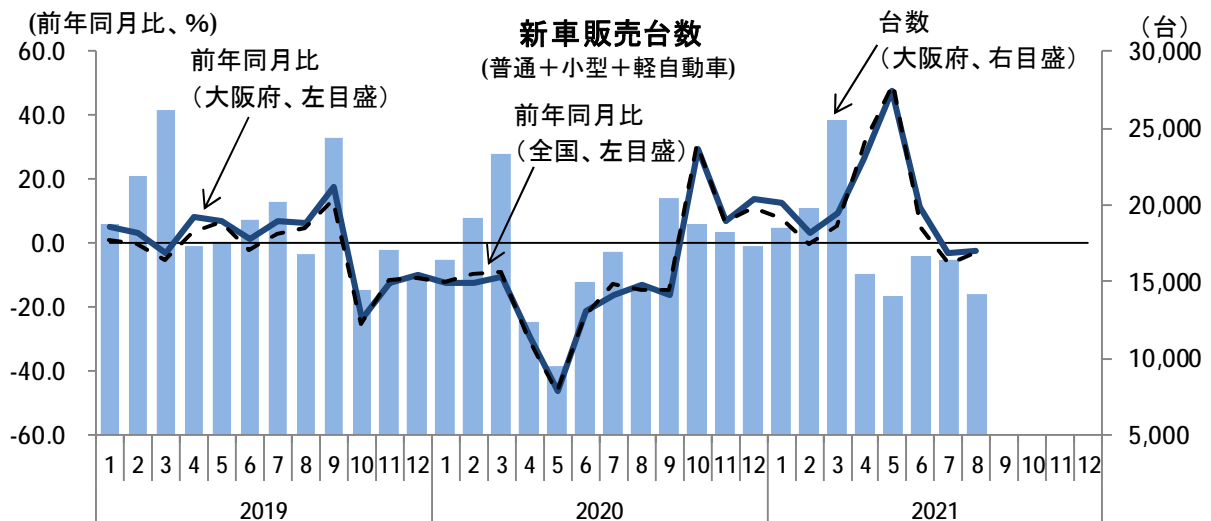
ドラッグストア販売額(全店)

		21年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	4.2	4.3	P 1.6
	全国	0.8	2.2	P 0.5

ホームセンター販売額(全店)

		21年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	▲9.4	▲4.9	P ▲13.0
	全国	▲10.1	▲2.4	P ▲14.0

○新車販売台数【前年同月比で2ヶ月連続の減少。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		21年6月	7月	8月
販売額(台)	大阪府	16,701	16,370	14,227
前年比 (%)	大阪府	11.5	▲3.2	▲2.4
	全国	4.5	▲6.4	▲2.5

車種別の増減

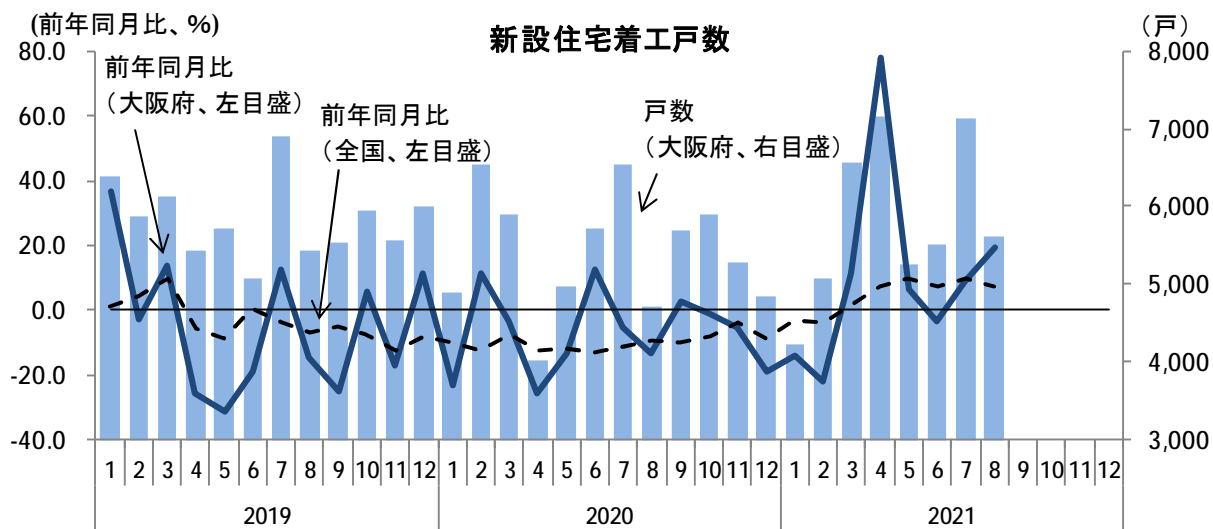
(大阪府、前年同月比(%)、8月)

普通車	小型車	軽自動車
9.5	▲5.1	▲16.1

[需要] 投資

投資は、持ち直している。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】

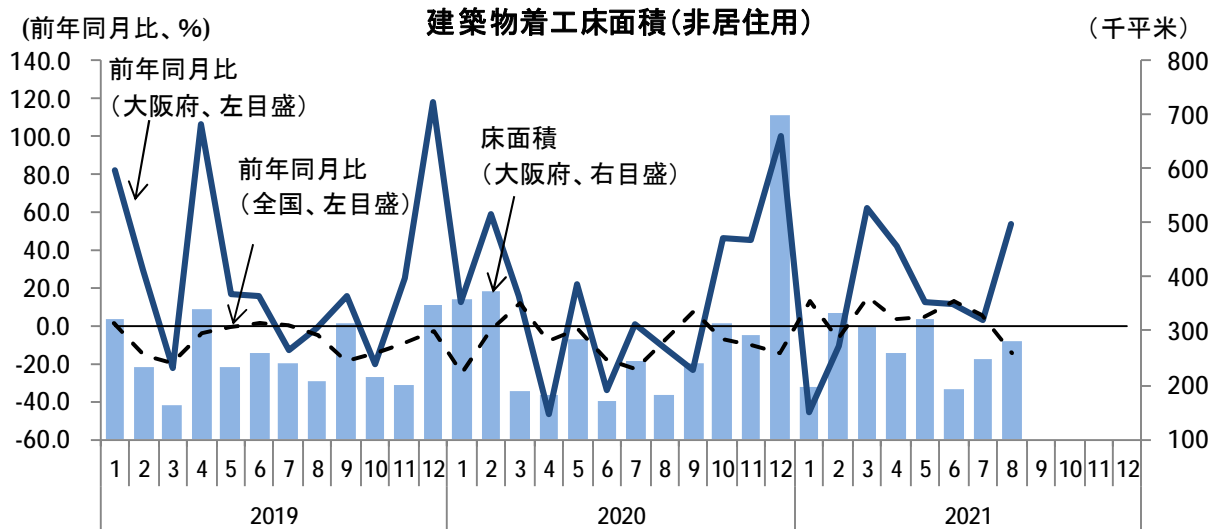


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		21年6月	7月	8月
戸数	大阪府	5,521	7,131	5,603
前年比 (%)	大阪府	▲3.3	9.1	19.2
	全国	7.3	9.9	7.5

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、8月)		
持家	貸家	分譲
17.0	53.6	▲11.6

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で6ヶ月連続の増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		21年6月	7月	8月
千 m ²	大阪府	191	250	282
前年比 (%)	大阪府	11.9	2.5	54.2
	全国	12.6	5.9	▲14.6

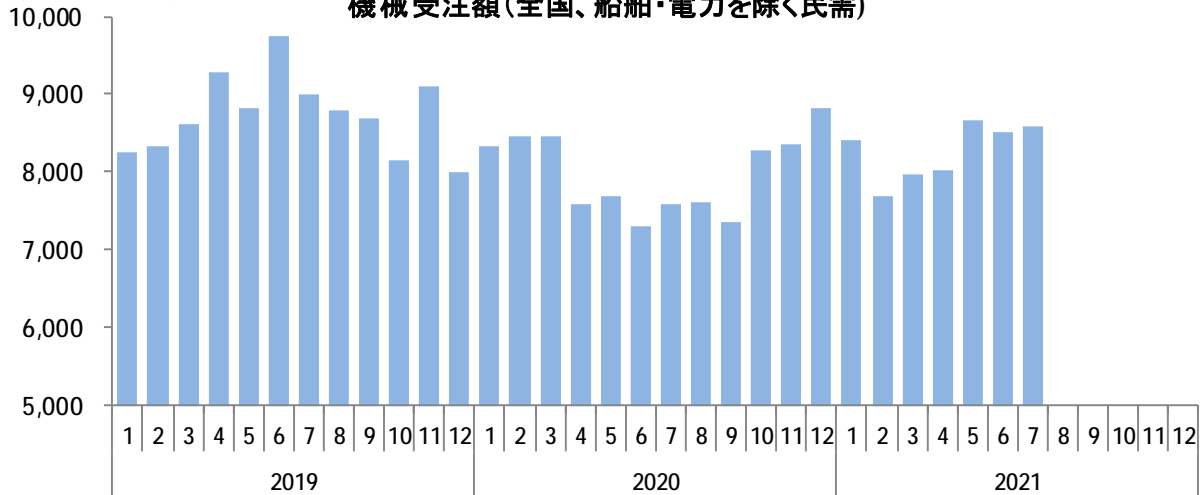
着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、8月)	
増加	不動産(31.4)、卸売業・小売業(28.1)
減少	運輸業(▲28.5)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

○機械受注額【7月(全国)は前月比で増加。】

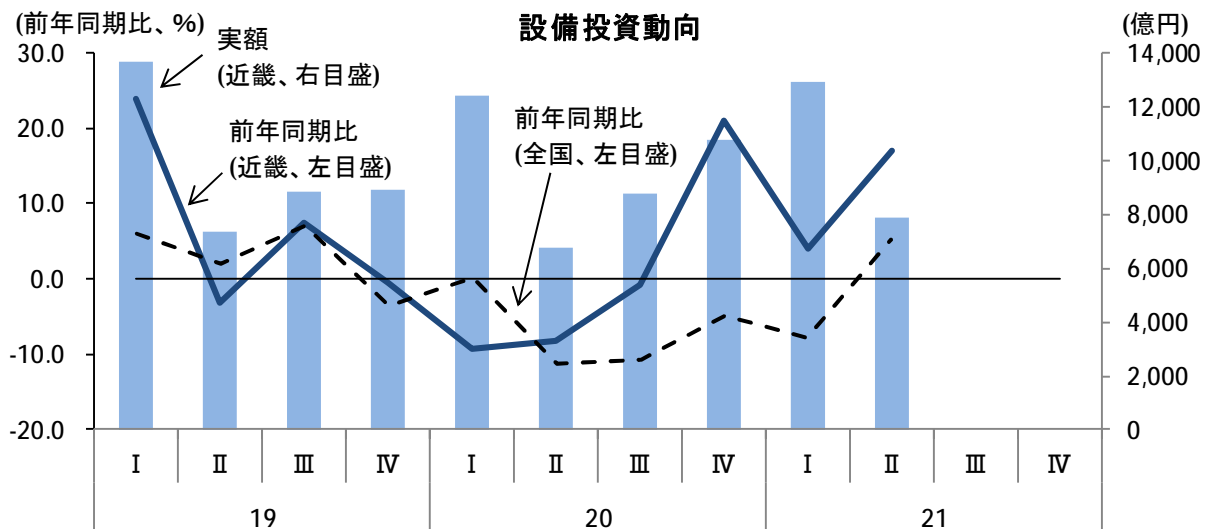
(季調値、億円)



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	21年6月	7月	8月
全国(億円)	8,524	8,597	

○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で3期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		20年10~12月	21年1~3月	4~6月
億円	近畿	10,791	12,928	7,892
前年同期比 (%)	近畿	21.0	4.1	17.1
	全国	▲4.8	▲7.8	5.3

○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの増加。】

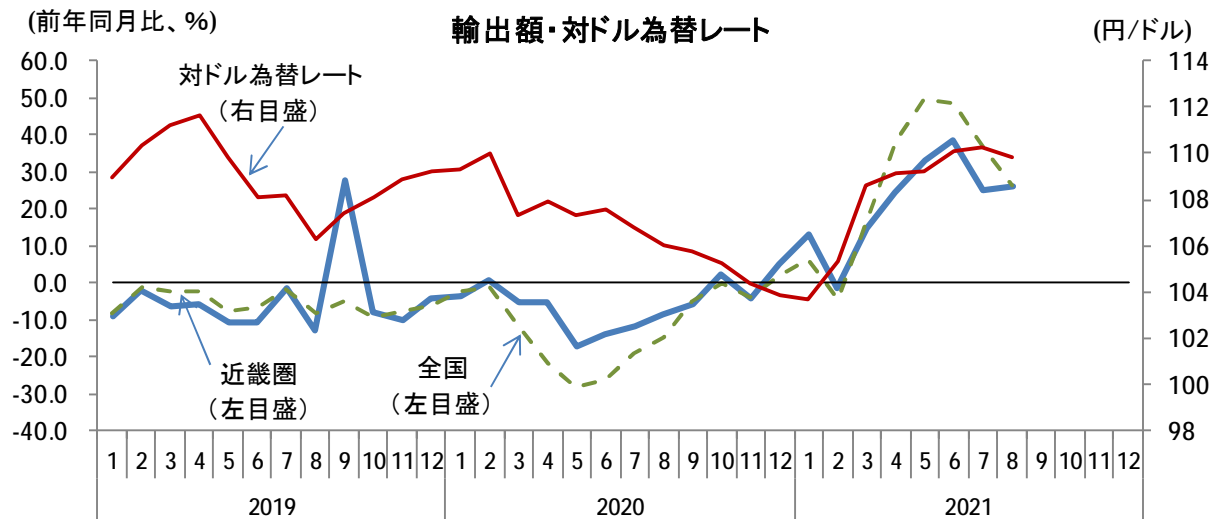
		21年6月	7月	8月
億円	大阪府	504	353	349
前年比 (%)	大阪府	0.6	▲1.9	21.8
	全国	0.7	▲9.9	▲11.0

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【6ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「プラスチック」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

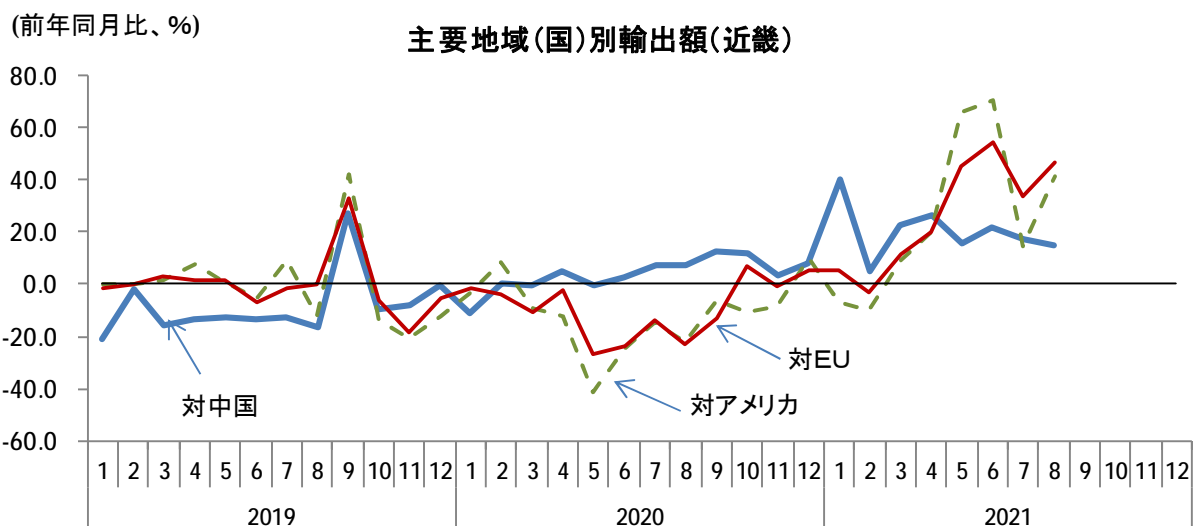
※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		21年6月	7月	8月
輸出額(億円)	近畿	16,080	15,560	P 15,209
前年比 (%)	近畿	38.7	25.0	P 26.2
	全国	48.6	37.0	P 26.2
為替レート(円/ドル)		110.11	110.29	109.84

品目別の主な増減

(近畿、前年同月からの増減額順、8月)

増加	半導体等電子部品、プラスチック
減少	遊戯用具、加熱用・冷却用機器



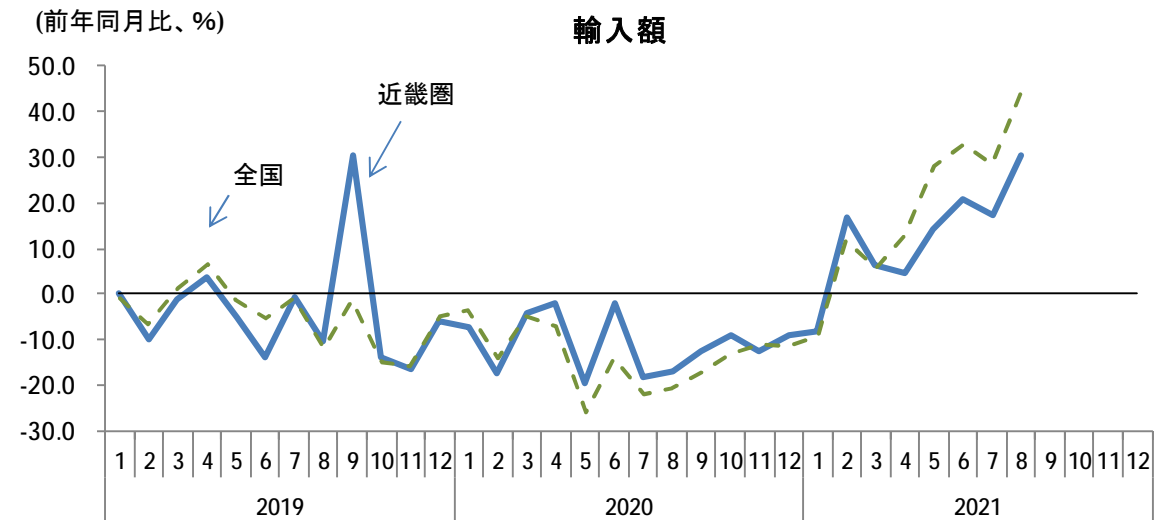
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、8月)

アジア(含む中国)	19.5	9ヶ月連続の増加
中国	14.7	15ヶ月連続の増加
EU	46.4	6ヶ月連続の増加
アメリカ	41.3	6ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【7ヶ月連続の増加。「医薬品」、「原油及び粗油」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		21年6月	7月	8月
輸入額(億円)	近畿	12,791	P 12,852	P 13,040
前年比 (%)	近畿	20.8	P 17.3	P 30.6
	全国	32.8	P 28.5	P 44.7

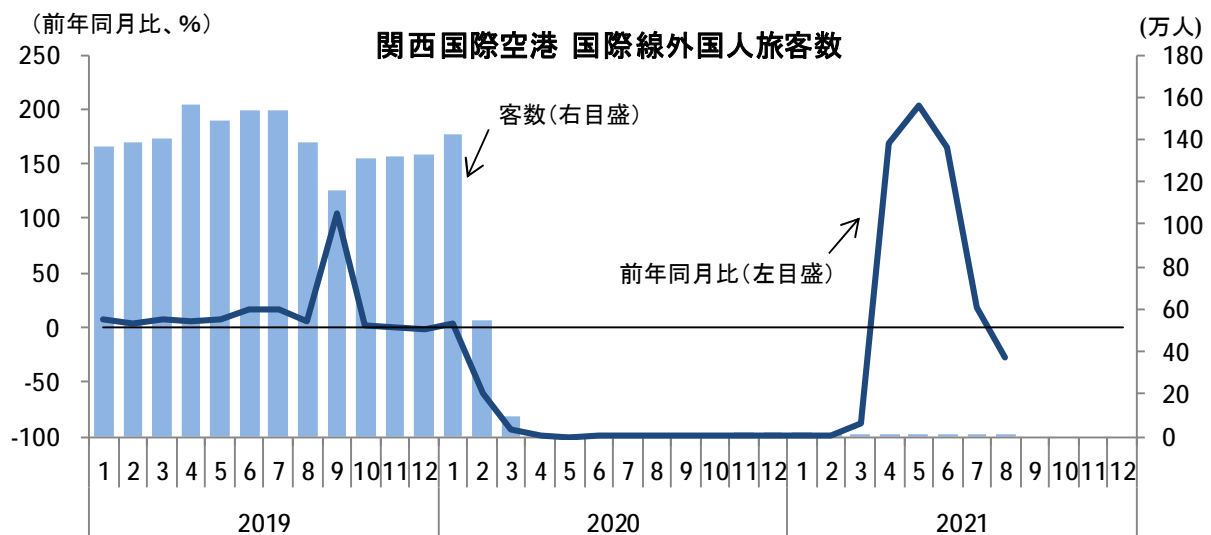
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、8月)

増加	医薬品、原油及び粗油
減少	たばこ、通信機

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、8月

アジア(含む中国)	30.3	7ヶ月連続の増加
中国	32.3	3ヶ月連続の増加
EU	43.4	8ヶ月連続の増加
アメリカ	34.2	6ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で5ヶ月ぶりの減少。】



(資料)関西エアポート(株)

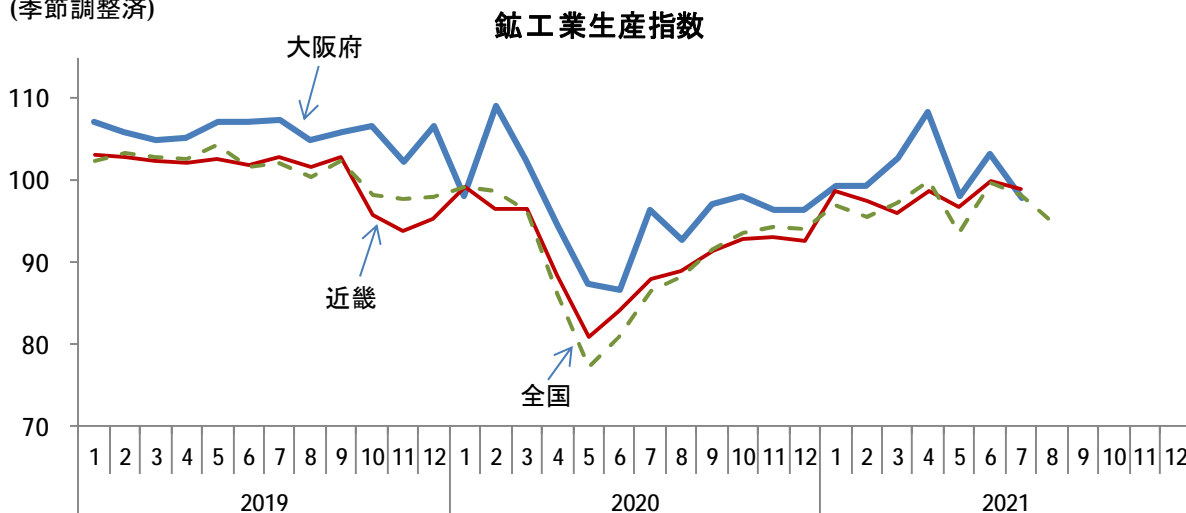
	21年6月	7月	8月
万人	1.1	P 0.7	P 0.6
前年比(%)	164.1	P 18.5	P ▲26.8

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、基調としては持ち直している。大阪府(7月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(7月)は低下。全国の生産(8月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(7月)は2ヶ月ぶりの低下。「化学」、「電気・情報通信機械」などが低下。近畿(7月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。全国(8月、鉱工業)は2ヶ月連続の低下。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	21年6月	7月	8月
大阪府	103.1	P 97.9	
近畿	100.0	99.0	
全国	99.6	98.1	P 95.0

鉱工業出荷指数

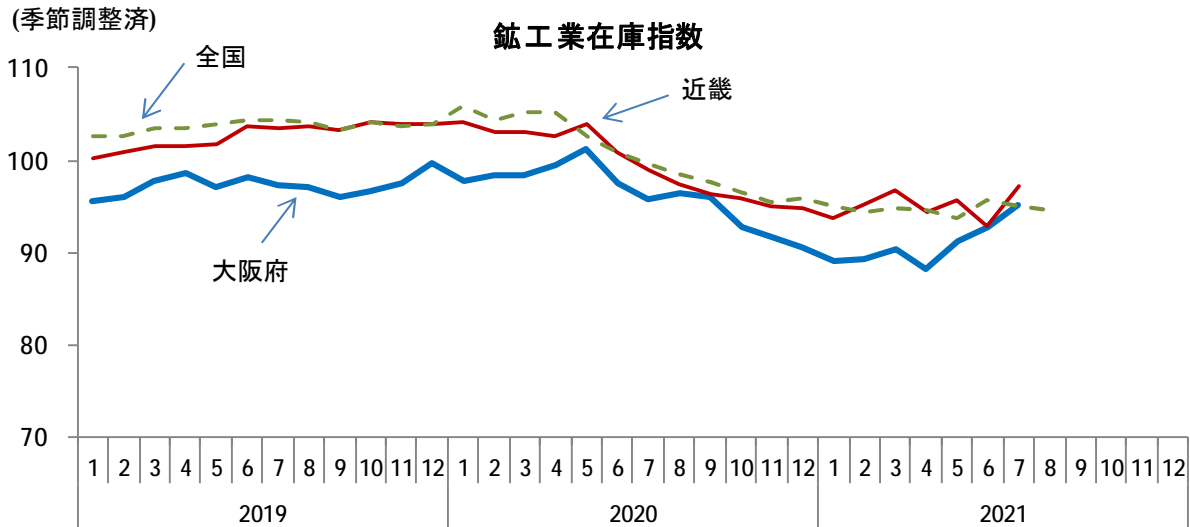
季調済	21年6月	7月	8月
大阪府	98.3	P 94.9	
近畿	99.7	96.2	
全国	96.7	96.4	P 92.7

生産指数における産業別の主な変動 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、7月速報)

上昇	輸送機械(21.6): 鉄道車両、鉄道車両部品 石油・石炭製品(X): ガソリン、軽油 プラスチック製品(4.0): プラスチック製機械器具部品、プラスチック製日用品・雑貨
	低下
低下	化学(▲12.4): 医薬品、合成アセトン 電気・情報通信機械(▲10.5): 無線通信装置(除、移動通信装置)、セパレート形エアコン(室外) 金属製品(▲5.7): 橋りょう、産業用アルミニウム製品

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(7月)は3ヶ月連続の上昇。「汎用・業務用機械」、「化学」などが上昇。近畿(7月)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(8月)は2ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

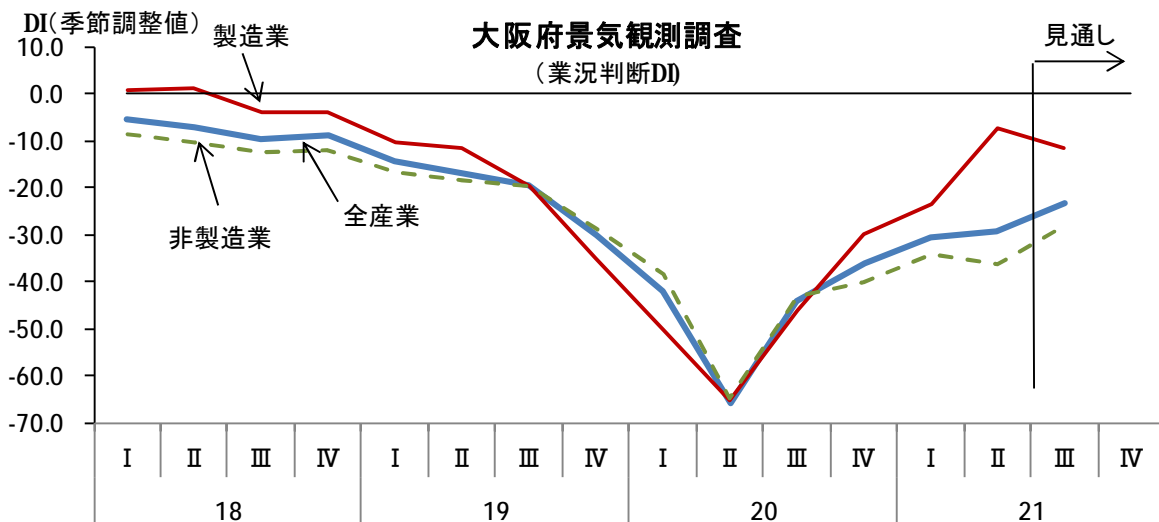
鉱工業在庫指数

季調済	21年6月	7月	8月
大阪府	92.7	P 95.1	
近畿	92.9	97.2	
全国	95.7	95.0	P 94.7

在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、7月速報)

上昇	汎用・業務用機械(11.7):チリングユニット、汎用内燃機関 化学(3.1):ポリプロピレン、石けん類
低下	電気・情報通信機械(▲4.3):陸上移動通信装置、電気冷蔵庫 生産用機械(▲2.7):ブルドーザ

○企業の業況判断【4~6月期(全産業)は4期連続の改善。】

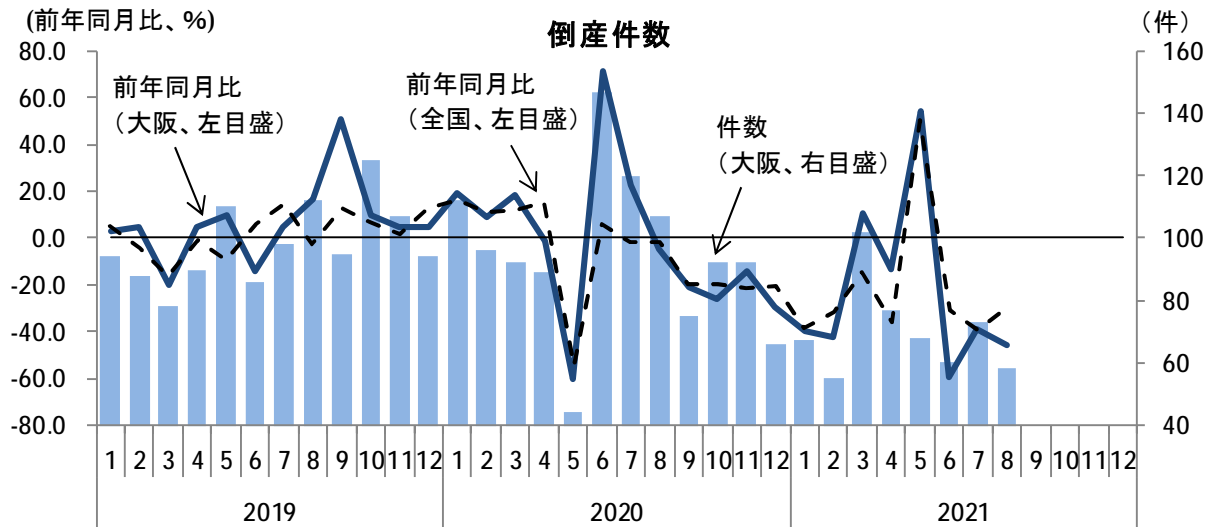


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	20年 10~12月	21年 1~3月	4~6月	7~9月 (見込み)
製造業	▲29.7	▲23.3	▲7.4	▲11.3
非製造業	▲40.0	▲33.9	▲36.3	▲28.3
全産業	▲36.0	▲30.4	▲29.1	▲23.4

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で3ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で10ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		21年6月	7月	8月
件	大阪府	60	73	58
前年比 (%)	大阪府	▲59.1	▲39.1	▲45.7
	全国	▲30.6	▲39.6	▲30.1

負債金額

		21年6月	7月	8月
億円	大阪府	33	77	97
前年比 (%)	大阪府	▲92.2	▲48.8	▲16.3
	全国	▲46.7	▲29.1	25.6

主要業種の倒産件数(大阪府)

	21年6月	7月	8月
建設業	7	9	7
製造業	5	7	5
卸売業	10	13	6
小売業	6	2	9
サービス業他	30	27	28

主な倒産(大阪府、8月)

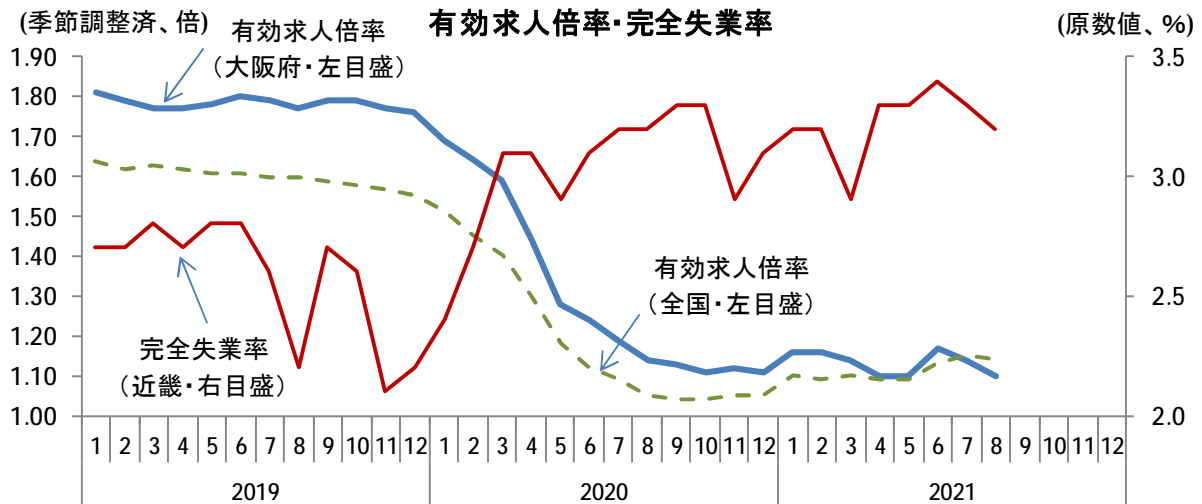
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
病院経営	5,200	放漫経営
医薬品卸、調剤薬局経営	1,160	他社倒産の余波
LED照明販売	824	販売不振
自動車販売、整備修理業	400	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(7月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比横ばい】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月連続の低下】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	21年6月	7月	8月
%	3.4	3.3	3.2
前年同月差	0.3	0.1	0.0

完全失業率(全国、季節調整値)

	21年6月	7月	8月
%	2.9	2.8	2.8
前月差	▲0.1	▲0.1	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	20年10~12月	21年1~3月	4~6月
大阪府	3.3	3.9	3.6
近畿	3.1	3.1	3.3
全国	2.9	2.8	3.0

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	21年6月	7月	8月
大阪府	1.17	1.14	1.10
全国	1.13	1.15	1.14

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	21年6月	7月	8月
大阪府	2.44	1.92	2.19
全国	2.08	1.98	1.97

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

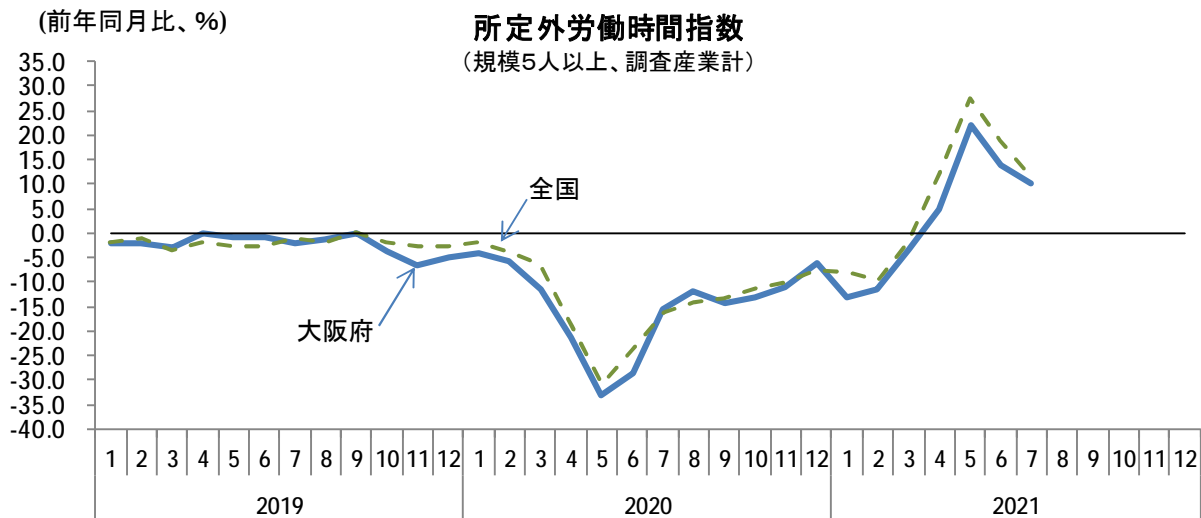
	21年6月	7月	8月
産業計	▲2.5	3.1	9.1
建設業	▲1.8	2.8	12.7
製造業	17.1	31.4	36.0
卸売業、小売業	▲8.0	1.3	5.4
宿泊業、 飲食サービス業	▲24.7	▲6.4	22.0
医療、福祉	▲5.8	2.1	6.0

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

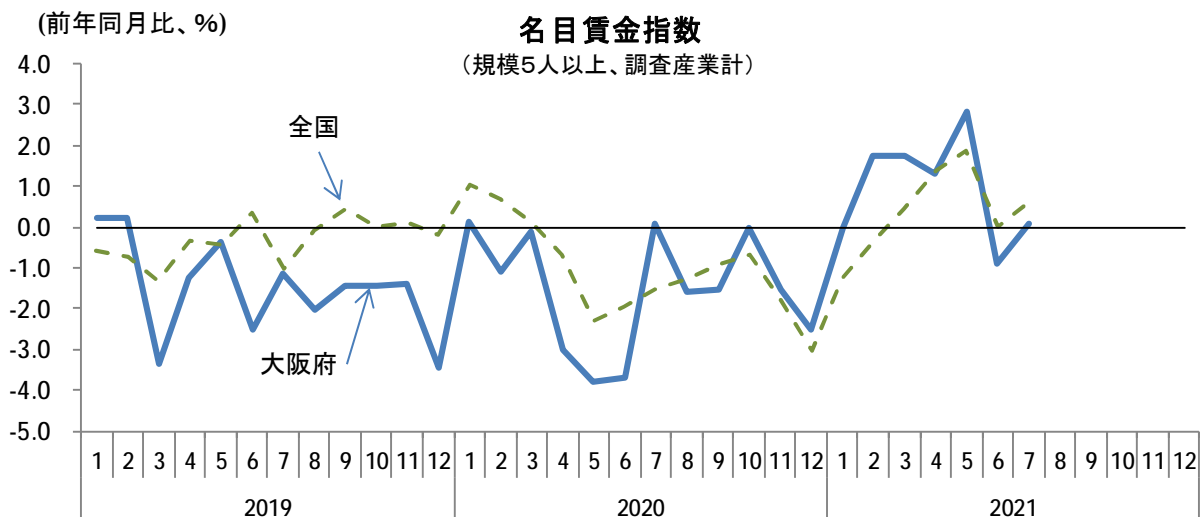
○所定外労働時間指数【大阪府(7月)は4ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		21年6月	7月	8月
指数	大阪府	79.0	84.8	
前年比 (%)	大阪府	13.7	10.0	
	全国	18.8	11.4	

○名目賃金指数【大阪府(7月)は2ヶ月ぶりの上昇。】

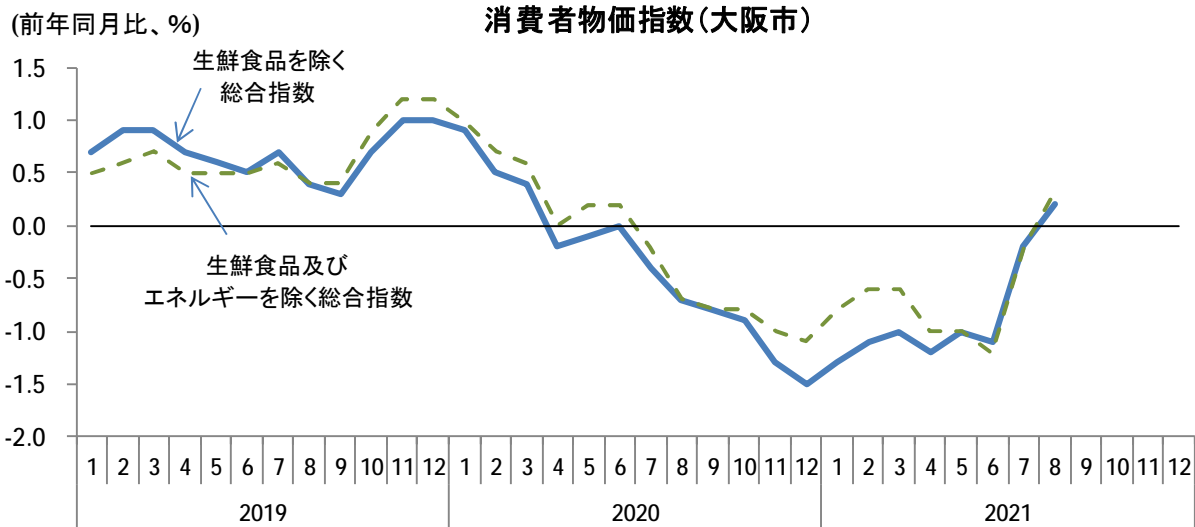


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		21年6月	7月	8月
現金給与総額(円)	大阪府	447,932	401,778	
前年比 (%)	大阪府	▲0.9	0.1	
	全国	0.1	0.6	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 17 ヶ月ぶりの上昇。「光熱・水道」「教養・娯楽」が上昇に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 14 ヶ月ぶりの上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		21年6月	7月	8月
指数	大阪市	99.1	99.2	P 99.2
前年比 (%)	大阪市	▲1.0	▲0.3	P ▲0.3
	全国	▲0.5	▲0.3	▲0.4

生鮮食品を除く総合指数

		21年6月	7月	8月
指数	大阪市	99.2	99.4	P 99.4
前年比 (%)	大阪市	▲1.1	▲0.2	P 0.2
	全国	▲0.5	▲0.2	0.0

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		21年6月	7月	8月
指数	大阪市	99.1	99.2	P 99.2
前年比 (%)	大阪市	▲1.2	▲0.2	P 0.3
	全国	▲0.9	▲0.6	▲0.5

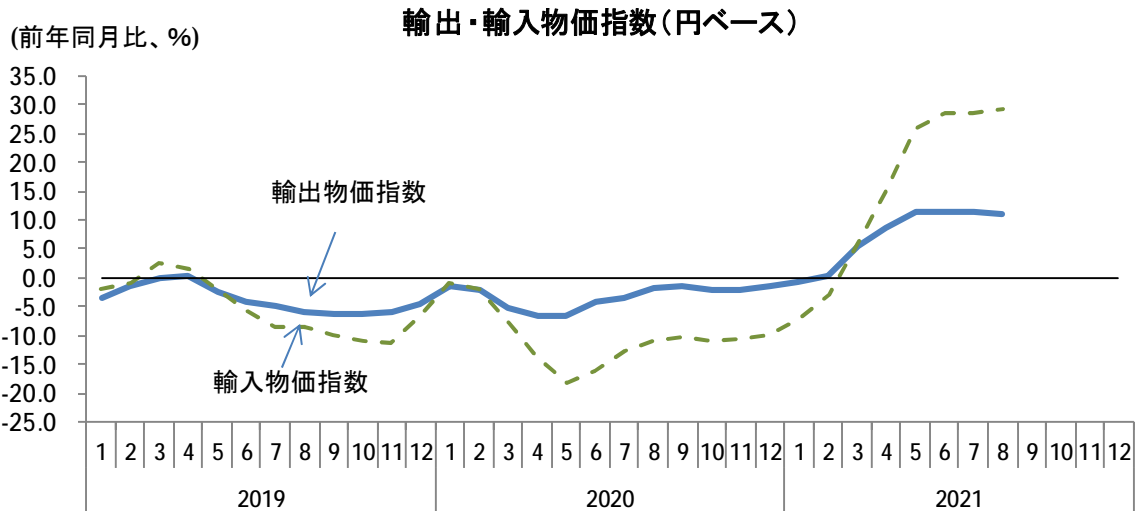
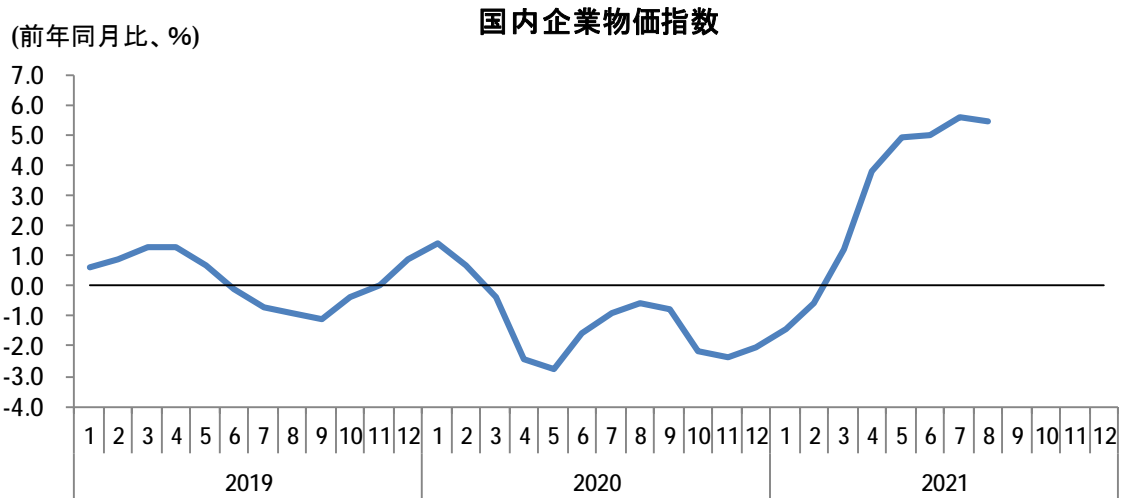
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、8月速報)

上昇	光熱・水道(7.8): 上下水道料(下水道料、水道料)
	教養・娯楽(5.7): 教養娯楽サービス(宿泊料、サッカー観覧料、講習料(水泳))、書籍・他の印刷物(新聞代(全国紙)、月刊誌、週刊誌)
低下	交通・通信(▲11.9): 通信(通信料(携帯電話)、携帯電話機)
	食料(▲1.5): 野菜・海藻(レタス、はくさい、キャベツ)、肉類(牛肉(国産品)、豚肉(国産品)、ベーコン)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は 2015 年=100。

企業物価指数

	21年6月	7月	8月
国内企業物価指数	104.6	105.8	P 105.8
輸出物価指数	99.2	99.8	P 99.6
輸入物価指数	102.4	104.6	P 106.5

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(8月速報、寄与度(%))

木材・木製品 (0.06) : 住宅建築用木製組立材料、集成材、ひき割
鉄鋼 (0.06) : 小型棒鋼、普通鋼鋼管、鉄鋼切断品(薄板)
石油・石炭製品 (▲0.07) : ガソリン、軽油、灯油
農林水産品 (▲0.06) : 鶏卵、豚肉、牛肉